

まごころこめて磨き合う なまづっこ

「なかまと まごころこめて すすんで やりぬく子」

～学び磨き・こころ磨き・健康磨き～

2023.9.1 発行

竹の節 ～強くてしなやかな節を～

「竹」について調べるとこんなふう書いてあります。

『イネ科の常緑植物。幹（茎）の中がからで、節があり、弾力に富み、まっすぐ伸びる。1本の竹には平均60個の節があり、節のひとつひとつに成長点と呼ばれる個所がある。松・梅と共に、めでたい植物とされ、風雅の友ともされる。』

竹は、お正月の門松など、おめでたい場面でもよく見かけます。また、雪の重みや強い風雨にも耐え、他の木々にはない多くの節をもって、空に向かって真っすぐ成長します。この様子は、子どもたちがすすくと成長する姿に例えられることがあります。

すすくと伸びる竹。早いものでは、いったい1日にどれくらい成長するでしょう。10cmくらいでしょうか。30cmくらいでしょうか。林野庁のホームページには、最も伸びた竹（真竹）の記録には、1日に121cm（1m21cm）とありました。こんなにも伸びる秘密は、「竹の節」にあるそうです。

上記にあるように竹には節が60個ほどあります。この節の数はタケノコの時から変わりません。竹が伸びるのは、この節と節との間隔が広がるからです。竹の節のすべてには成長点があるため、それが一斉に伸びるからだそうです。



竹は、「節」をつくりながらたくましくしなやかに成長しますが、子どもたちも毎日の生活の中で「節」をつくっています。入学式・始業式・終業式（修了式）・卒業式といった儀式的な行事がそれにあたるでしょう。スポーツフェスタ、授業参観、校外研修や宿泊学習、修学旅行等を「節」と捉えることもできます。

子どもたちの毎日ほんの少しずつの成長をみてはなかなか気付かないこともありますが、一か月前、半年前を思い起こすとその成長ぶりに驚かすにはられません。4か月前、保護者の方と手をつないで入学してきた1年生は、本当にたくましく成長しました。運動場を友達と元気よく遊んでいる姿、はっきりとした声で挨拶する姿をみるとその成長ぶりを感じます。また、6年生の活躍ぶりも素晴らしいです。生津小学校のリーダーとして、なかよし活動や登校班、委員会活動などで全校のくらしが高まるような意見を出し合ったり、活動をしたりしています。その動きから力強さを感じます。また、この42日間の夏休みの間にも、それぞれが大きく成長したことでしょう。

子どもたちは、あきらめないこと、協力すること、我慢すること、工夫すること、他人をいたわることなど、生きていく上で大切な知恵やたくましさを学んでいます。これらの「節」を重ねていくことが、子どもたちにとって、これから出会うかもしれない様々なことに打ち克つ力になっていくことと思います。

9月になりました。私たち教職員も互いに切磋琢磨しながら高め合い、子どもたち一人一人に寄り添いながら「節」をつくっていきたいと思います。よろしく願いいたします。